



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：仏・イラク関係・サルコジ大統領のイラク訪問 (2月10日付首相府プレスリリース・AFP 他)

2月10日、湾岸諸国訪問に先立ち、イラクを訪問した。タラバーニ大統領、マーリキー首相と会談した。概要以下の通り。

1. サルコジ大統領は、仏大統領として初めてイラク訪問となるサプライズ訪問の際、バグダッドにおいて、仏企業に対し、イラクにおける投資に関するゴーサインを出した。サルコジ大統領は、「自分がここに来たのは、仏企業に対し投資を促進させるためである」と述べた。大統領は、フィヨン首相及びクシュネール外相率いる仏企業の大訪問団が、イラクに来るだろうと述べた。
2. さらにサルコジ大統領は、近く新たな在イラク仏国大使館と、投資にやってくる仏企業を支援するため、同国の経済的源泉であるエルビスとバスラに二つの領事館を建設すると発表した。
3. サルコジ大統領の主な発言
 - ・「今こそイラクを助けなければならない。フランスは、イラクの統合を確信している。世界は、統一された民主的な、主権を有した強固なイラクを必要としている。」
 - ・「イラクは、イラク政府の勇気による自由でクリーンな地方選挙の成功により明確なメッセージを送った。イラクが主権を取り戻し、治安を強化していることに安堵している。」
 - ・「イラクの債務の20%は、仏・イラク間で合意するプロジェクト実施契約の締結で解除できる。治安が回復した今、イラクは経済協力を必要としている。」
4. タラバーニ大統領の発言
 - ・「今回のサルコジ大統領のイラク訪問は、仏国元首の初の訪問である。二国間関係上の歴史的出来事である。」
5. マーリキー首相の発言
 - ・「サルコジ大統領の訪問は、両国間活計のみならず、復興支援、経済分野の投資促進でこれまでにない前向きな前進である。両国は政治・経済分野で一層の協調をしていく。」

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799